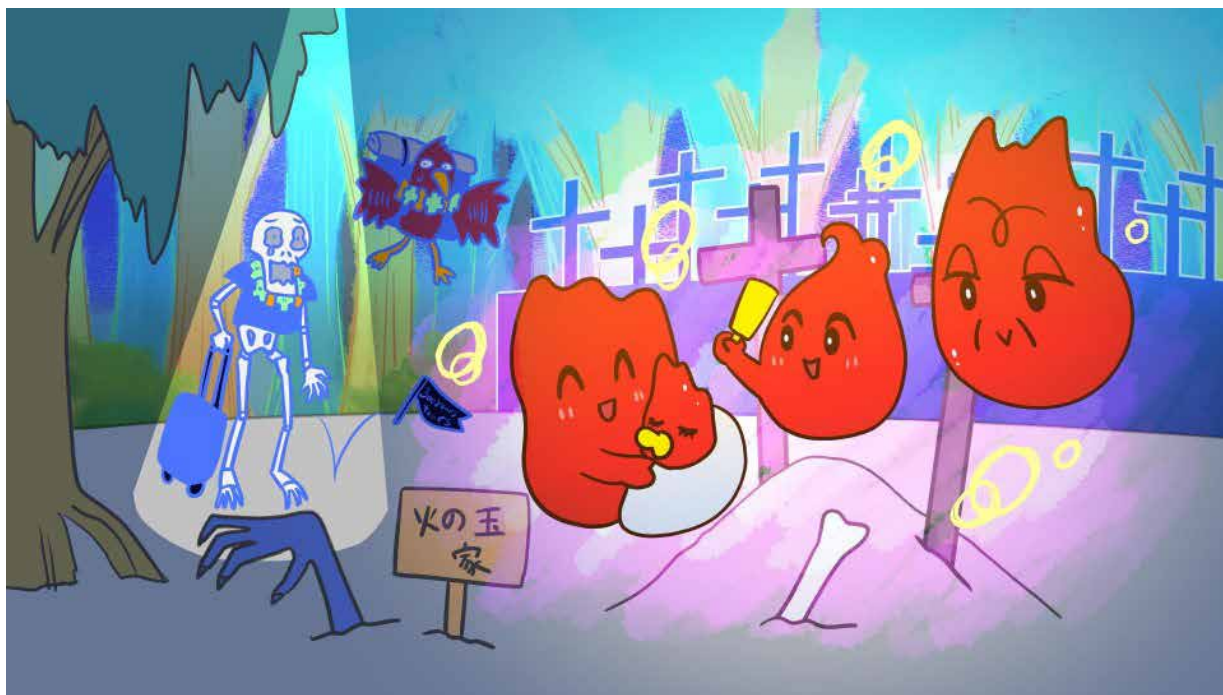


CASE02.



# おうちはだれのもの?事件

ガイコツさんが<sup>すみか</sup>棲家のお墓から<sup>はか</sup>世界一周旅行に出かけました。



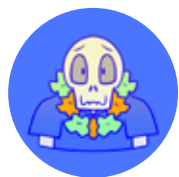
300年楽しんで帰ってきたら、なんとおうちのお墓には火の玉さん一家が住んでいました。

火の玉さんは



「100年間もここで暮らしていて、小さな<sup>まご</sup>孫も住んでいる。お墓<sup>そうじ</sup>の掃除もしてきたし、<sup>ちいき</sup>地域にも<sup>こうけん</sup>貢献してきたのに」と言います。

ガイコツさんは



「たった300年はなれていただけなのに、家をのっとるなんてひどい。かえしてほしい」と、言っています。



果たして、このお墓は、火の玉さんのものになったといえるのでしょうか？

そじょう

# 訴状

300年しか家を空けてないのにのっくられた。  
はやくおうちを返してほしい。家でゆっくりしたい。



げんこく  
原告 ガイコツさん

家のかわりに泊まっているホテル代2万トーンを払って  
ほしい。家をかえしてほしい。

とうべんしょ

# 答弁書



ひこく  
被告 火の玉さん

100年も住んでいて、まわりの住民もこの家は火の玉  
家のものだと思っている。  
300年も家を空けていれば、それはもう住んでいない  
のと同じこと。